## 第三版 2023年7月7日 日本電気株式会社

以下の手順に従い、作業を実施してください。

- 1. 機能強化を実施しているリビジョンにストレージ制御ソフトをアップデートしてください。
- iStorageManager Express から、iSM クライアントをダウンロードする設定を ON にしてください。
  <注意>

設定を ON にする作業では iSM クライアント Ver10.1 を利用します。 以下を参照して、iSM クライアント Ver10.1 の動作サポート環境をご準備ください。 【iStorage M/D/A シリーズ】iStorage ソフトウェア製品 OS サポート情報 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140101457 →iStorage ソフトウェア製品 OS サポート情報エクセルファイル

※NEC サポートポータルヘログインが必要です

- a. Web ブラウザを使用してディスクアレイ装置(http://<ディスクアレイ装置のIP アドレスまたはホスト名>)に接続し、iStorageManager Express を起動します。
- ※iSM クライアントのダウンロード画面が表示された場合、すでに設定が ON になっています。 3. の作業を実施してください。
- b. 起動後、メニュー[構築]→[ディスクアレイ]→[管理ソフトウェア設定]画面で
  「管理ソフトウェアサーバ関連」の管理ソフトウェア設定環境ファイル(以降、iSMsvr.confとします)を
  ダウンロードします。
- c. iSMsvr.conf を任意のフォルダに格納します。 <注意>

ファイル名は変更しないでください。

- d. iSMsvr.conf に以下の内容を追加します。
  - ·[web] セクションが存在しない場合
    - [web]
    - client\_jws\_enable=0

上記の2行を末尾に追加します。

- [web] セクションが存在する場合
- client\_jws\_enable=0

上記パラメータを'0'にします。

- e. 更新後に、b. と同じ画面の登録ボタンをクリックし、更新した iSMsvr. conf を選択して適用します。
- f. 「iSM サーバとのソケットが切断されました」のメッセージが表示されましたら、iSM クライアント を閉じます。

※ディスクアレイ装置の iStorageManager Express が再起動します。

再起動完了まで(約1分程度)お待ちください。

- 3. 機能強化に対応した iSM クライアントをインストールしてください。
  - a. Web ブラウザを使用してディスクアレイ装置(http://<ディスクアレイ装置の IP アドレスまたはホスト名>)に接続します。
    - ·iSM クライアントのダウンロード画面が立ち上がります。
  - b. お客様の環境に合せて、Windows/Linuxのどちらかを選択し、ダウンロードを実施します。
  - c. ダウンロード完了後に iSM クライアントのインストールを実施します。
    - ·Windows の場合 : ダウンロードしたインストーラを実行します。
    - Linux の場合 : ダウンロードしたパッケージをインストール(※1)します。
      ※1:任意のディレクトリにコピーします。(例:/tmp)
      コピーしたパッケージを yum または rpm コマンドでインストールします。
- 4. 機能強化に対応した iSM クライアントを起動してください。
  - a. iSM クライアントをインストールした後、スタートメニューおよびデスクトップ(※2)に、
    iSM クライアントを起動するショートカットが作成されます。そのショートカットをダブルクリックして、iSM クライアントを起動します。

※2: Linux 版では、デスクトップに作成されません。

- b. iSM クライアントにログインするには、次の手順を実行します。
  - 1. [IP アドレス]にディスクアレイ装置に設定している IP アドレスを入力します。
  - 2. [ポート番号]に 80 を入力します。(入力例)
  - 3. [利用者名]に iStorageManager Express に設定している利用者名を入力します。
  - 4. [パスワード]に iStorageManager Express に設定しているパスワードを入力します。
  - 5. [オプション]ボタンをクリックすると、ログイン後の動作設定を変更できます。
  - 6. [ログイン]ボタンをクリックすると、メイン画面が表示されます。

改版履歴

版数	改版内容	改版日
第一版	—	2018/11/30
第二版	手順 2. の要否判断を追記	2019/9/30
第三版	・iSMクライアント起動環境を追記	2023/7/7
	・iStorageManager Expressの再起動時間を追記	